

# 高知県津野町と地域創成

四万十川源流の里 石積みの棚田・源流茶・里芋・ブント栽培



高知県津野町は、高知県の中西部に位置し、**四万十川源流域**の山村集落です。

津野町には標高600mの急峻な斜面に天空の茶畑や棚田が広がり、伝統的農業と文化を育んでいます。

源流域では、先人が自然と共生してきた里山の暮らしの知恵や文化ならびに自然を活かした「いなし」技術、「結」や「共助」の共同管理による地域コミュニティが形成されてきました。津野町の農林業の営みは、国土保全及び生物多様性上、重要な**グリーンインフラ**の機能を有しています

地域創成科学科では、高知県内の3大学と連携しながら、地元住民との**ワークショップ**を通じて、四万十川源流域の豊かな自然環境、里芋・文旦・お茶・ミョウガ等の地域資源と、社会現場で活躍する女性や伝統的**石積み**や農業の名人等の人的資源を活かした**地元学・津野山学**の寺子屋私塾、津野山**まるごとミュージアム**の構想などを提案し、**グリーンインフラ**の向上を図ることとしています。

